

5. アジアの数学会との交流

秋季総合分科会に、大韓数学会代表団を招いて、大韓数学会の会員による企画特別講演を行いました。2017年12月に台湾数学会年会に代表団を送り、日本数学会からの推薦者6名による招待講演を行いました。

6. ICIAM

会員として年会費を380USドルを拠出しました。

V. 社会連携事業

1. 市民講演会（於東京都八王子市および山形県山形市）、「おもしろ数学教室」（於藤岡市）を開催しました。

2. 文部科学省ならびに統計数理研究所「数学協働プログラム」と連携し「数学連携ワークショップ ―金融に利用される数学・数理技術の「これまで」と「これから」―」（首都大学東京での年会会期中）、および文部科学省、科学技術振興機構、ならびに九州大学「数学アドバンスイノベーションプラットフォーム」と連携し「数学連携ワークショップ ―数学だからできる現実世界を超えた「メタ」現実の可能性―」（山形大学での秋季総合分科会会期中）を開催しました。

3. 博士課程の学生を中心としたキャリアパス支援構築を目的とし、「第6回数学・数理科学のためのキャリアパスセミナー ―多様なキャリア構築に向けた特色ある数学教育―」（首都大学東京での年会会期中）および「数学・数理科学専攻若手研究者のための異分野・異業種研究交流会2017」（2017年11月11日、明治大学）を開催しました。

4. 数学「ジャーナリスト・イン・レジデンス」（JIR）プログラムへの支援を行いました。

5. 「女子中高生夏の学校」においてポスター展示および実験実習を行いました。

VI. 記念事業

1. 加藤敏夫生誕百周年記念事業

2017年は、カリフォルニア大学バークレー校教授だった故加藤敏夫教授の100周年にあたり、関数解析の応用、特にシュレディンガー方程式やナヴィエ-ストークス方程式への応用で決定的な貢献があった同氏の業績に敬意を表し、下記の記念行事を行いました。

- ・秋季総合分科会における展示企画

- ・「Tosio Kato Centennial Conference」の開催

- ・「量子力学の数学理論 摂動論と原子等のハミルトニアン」（近代科学社）の刊行